



1. 概要

日吉ダムは、淀川水系水資源開発基本計画の一環として淀川水系桂川上流部に建設された多目的ダムで、昭和57年に事業実施方針の指示を受け、同年10月工事に着手し、平成10年3月末に完成し、同年4月より管理業務を開始した。

当ダムは、平成5年4月に建設省（現国土交通省）の重点施策である「地域に開かれたダム」として第1号の指定を受け、地元三町（旧日吉町・旧京北町・旧八木町）と協力して、地域の活性化を目指してダム及び貯水池周辺の環境整備を行っている。その一環として、ダム堤体内監査廊（インフォギャラリー）を我が国で初めて常時一般開放し、実体験を通して来訪者のダムに対する理解を深めており、多数の一般見学者が来訪している。

2. 管理の目的

◆洪水調節

日吉ダム地点における流入量が、毎秒150立方メートルに達した後は、毎秒150立方メートルの水量を放流する方法により洪水調節を行う。

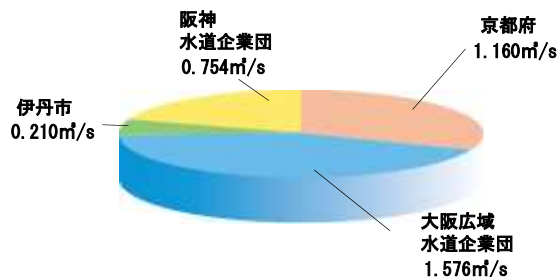
◆既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保

桂川の既得用水の補給等、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水を確保する。

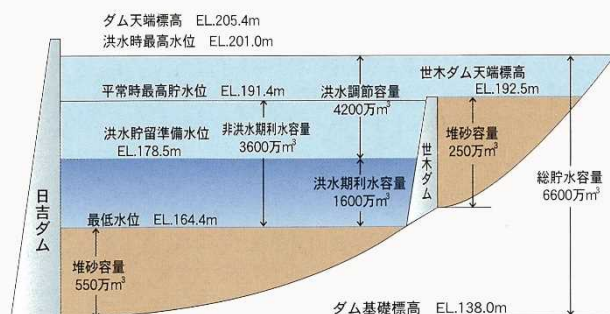
◆水道用水

京都府及び阪神地区の水道用水として毎秒3.700立方メートルを供給する。

利水供給先
合計／3.700 m³/s



■日吉ダム貯水容量配分図



【ダムの諸元】
 ダム型式：重力式コンクリートダム
 堤体積：670千m³
 堤高：67.4m

堤頂長：438m
 流域面積：290km²
 湛水面積：2.74km²
 竣功：平成10年3月